



県内初

くるみんプラス認定



くるみんプラス認定マーク

福祉法人あすなる会 プラス認定通知書交付式



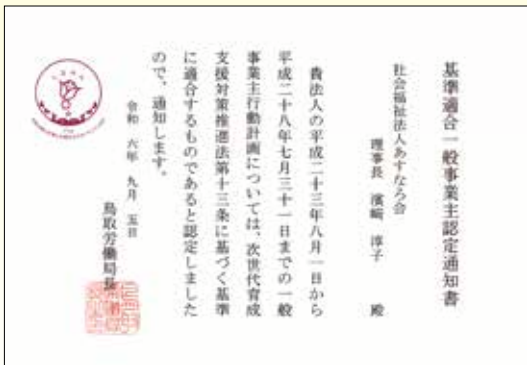
認定通知書交付式

平成28年に「子育てサポート企業」として、くるみん認定を受けておりましたが、令和6年10月に鳥取労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業であることにプラスして不妊治療と仕事との両立をサポートする企業として「くるみんプラス認定」を受け、10月3日に認定通知書交付式が行われました。

この度の「くるみんプラス認定」は、あすなる会が鳥取県内初の認定企業となりました。

～あすなる会の主な取り組み内容～

- 平成27年より不妊治療を休職事由として認めていたが、より利用しやすくするため令和6年7月に「不妊治療休業」として新たに制度を規定
- 通院治療に利用できるよう、半日及び時間単位で年次有給休暇を取得することができる制度を整備
- 理事長より、不妊治療と仕事との両立をサポートする制度を見直し、入職した職員が長く勤めることができる制度を周知し、誰でも気がねなく使える職場づくりに取り組むメッセージを発信
- 両立支援サポートに関わる相談窓口を設置
- 制度の申出、取得を理由に不利益取り扱いを行わないことやハラスメントを禁止する方針を周知
- 両立支援窓口担当者を対象に仕事と不妊治療の両立について研修を実施し、制度の理解を深めるよう各施設で周知



認定通知書

あすなる会の理念

私たちは あすなるの木にふりそそぐ光と水のように 愛情と使命感を持ち
地域福祉の未来を創造します

あすなる会の基本方針

- 1 ご利用者へより質の高いサービスの提供を行い、満足されるものとします。
- 2 職員の資質向上を図り、愛情と使命感あふれる働きがいのある職場とします。
- 3 地域の意見を反映し、地域とともに発展する社会福祉法人を目指します。
- 4 法人事業の継続性を強化し、事業を総合的に運営するための具体的方策を推進します。

目次

- ・くるみんプラス認定1
- ・介護老人福祉施設「岩井あすなる」
開設30周年を迎えて2
- ・「ケアハウスあすなる」
開設20周年を迎えて
- ・「白兔保育園」
指定管理運営10周年を迎えて3
- ・法人研修会
- ・永年勤続表彰など 4、5
- ・エルダー・メンター制度実施施設認証
- ・認定こども園への移行について6
- ・令和6年度 職員互助会 旅行7
- ・令和6年度 職員互助会 活動8



祝 開設30周年記念

介護老人福祉施設「岩井あすなる」

開設30周年を迎えて



平成6年4月21日、「特別養護老人ホーム岩井あすなる」は当時の岩美郡3町村（岩美町・福部村・国府町）を包括する施設として、社会福祉法人あすなる会の中では3番目の特別養護老人ホームとして開設しました。開設から30年の間には地域の皆様、ボランティアの皆様、関係機関の皆様、多くの方々を支えられながら歩むことができ、心より感謝申し上げます。

令和6年11月17日の開設30周年記念式典には、多くのご来賓の方、ご家族、利用者様にも参加していただき、ボランティア団体の皆様や岩井あすなる救護協力会の皆様、第三者委員の皆様へ濱崎理事長より、感謝状を贈らせていただき、30年間の歩みとしてフォトムービーをご観覧いただきました。心配していました天候にも恵まれ、記念樹「おおてまり」の植樹も無事できました。今後、記念樹と共に岩井あすなるは、一年一年成長してまいります。

開設当初の平成6年から現在までの間には高齢者福祉を取り巻く環境も大きく変わり、措置決定サービスから介護保険制度導入により、ご利用者が自ら福祉サービスの選択ができるようになりました。超高齢化社会と言われている時代の中でも、多くの方々と共に歩みを止めることなく、岩井あすなるの基本方針「ご利用者の尊厳を守り、安心して生活できるサービスの提供」、「常にサービスマナー、介護技術の向上に努める」、「地域の方との交流の場を拡げ、ご利用者様の満足度を高める」に真摯に取り組み続け、地域に岩井あすなるがあって良かったと思っただけのよう、これからも地域に無くてはならない施設を更に目指し、地域福祉の発展に努めてまいります。

今後歩みを止めることなく、職員一同一丸となって精一杯務めてまいりますので、皆様の温かいご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第三者委員 様

岩美町老人クラブ連合会
女性部 様

岩美町赤十字奉仕団 様

岩井あすなる
救護協力会 様

「ケアハウスあすなる」20周年記念



開設20周年を迎えて



ケアハウスあすなるは、平成16年5月1日に定員30名で本部事務局機能を備えたケアハウスとして、鳥取市の中心市街地、川端4丁目に建てられ20年の節目を迎えました。

当初から「街中の老人ホーム」ということで、利便性もよく利用者をはじめ多くの方々に関心を持っていただき大変喜んでいただいております。

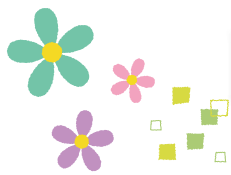
ケアハウスあすなるが20周年を迎えることができたのは、利用者、ご家族の皆様をはじめ、地域の方々、ボランティアの方々のご支援とご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

20周年記念式典では、長年お世話になった皆様に濱崎理事長より、感謝状を贈らせていただきました。ありがとうございました。



今後も、あすなる会のコンセプトであります「これまでも、これからも地域と共に」を心掛け地域の方々に愛され、ご利用者に安心・安全で居心地のいい空間を提供出来るように努めてまいりたいと思います。

これからも引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「白兔保育園」10周年記念



指定管理運営10周年を迎えて



社会福祉法人あすなる会は平成26年4月に鳥取市の指定管理を受け、令和6年4月1日をもちまして、白兔保育園指定管理運営10周年を迎えました。この度10周年を迎えることができたのも、鳥取市幼児保育課をはじめ、関係機関、保護者の皆様、地域の皆様、そして今まで当園にご尽力頂きました皆様からのご支援とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

白兔保育園は、「一人一人を大切に、地域の中で仲間と共に輝く子どもの育成」を目標に、様々な活動に取り組んできましたが、その中で、子どもたちの沢山の成長や喜びに触れることができたことは私たち職員の宝となっています。豊かな自然に恵まれた

この地域でのびのびと遊び、発見や挑戦を積み重ねていく子どもたち。地域や保護者の方々との様々なつながりの中で、温かな励ましの言葉や愛情を頂き、支えて頂いてきたことを改めて実感しています。

これからも子どもたちが安心してのびのびと遊び、保育園での経験が豊かなものとなるよう努め、子どもたちや保護者の方々の笑顔が溢れるあたたかな保育園作りを目指していきたく思いますので、今後とも同様にご支援ご協力をお願い致します。



法人研修会

あすなる会法人研修会は法人の創立記念日に開催することとしており、令和6年11月1日に鳥取県立福祉人材研修センターにて集合形式とZOOMを使用したハイブリッド形式で行いました。業務で会場へ来られない職員はオンラインによって視聴し、会場参加者と合わせて約200名のより多くの職員が参加することができました。研修会では、事例研究発表、永年勤続表彰、権利擁護研修、特別映画上映会等、充実したものとなりました。高齢者、障がい、保育と様々な分野からの事例研究の成果を各施設がそれぞれ参考にして、日々の業務の中で、ご利用者のために活かすことができるよう今後も努めていきたいと思っております。



表彰式典

令和6年度春の叙勲で瑞宝単光章を受章された久松保育園施設長 富吉由美子氏の紹介、第78回国民スポーツ大会相撲成年男子の部で個人と団体で活躍された鳥取西デイサービスセンター介護士、アルタンゲレル ソルソフー氏が紹介され、法人貢献表彰を致しました。

そして永年勤続表彰では、40年～10年の節目を迎える職員計107名に表彰状と記念品を贈呈しました。

事例研究発表

事例研究発表では高齢者、障がい、保育のそれぞれの分野から、各施設で取り組んだ研究内容や成果について9事例の発表がありました。発表された事例の中から厳正な審査の結果、令和7年2月22日(土)に倉吉で開催される鳥取県福祉研究会第18回研究発表会に、高草あすなる「介護現場におけるICT活用と業務効率化」、高草あすなるデイサービスセンター「デイサービスに求められているものとは～アンケート結果から見えたもの～」、鳥取市介護老人保健施設やすらぎ「EASEプログラム®を用いて、自己効力感に変化をもたらした一事例」の3事例を推薦し、あすなる会の代表として発表します。

権利擁護研修

権利擁護研修では、白兔あすなるの太田施設長より、昭和・平成・令和それぞれの時代背景と各時代における人権の違いについての講義でした。それぞれの時代にそれぞれの良さがあり、昭和時代の地域コミュニティの強さや、令和時代の多様性の尊重など、どちらも大切な価値観ですが、現代社会では、都市化や核家族化によって、家族や近隣との繋がりが希薄になっています。一方で、令和時代には多様なライフスタイルや考え方が認められ、自分らしさを表現することが重要視されており、これにより自己実現や自己表現を追求することができ、個人の幸福度が高まるというメリットがあります。それぞれの価値観を大切に、互いに尊重し合うことが大切であると学びました。

特別映画上映会

今回は、特別映画上映会として、2004年に公開された俳優山崎ケンイチ氏のデビュー作「ウィニング・パス」を視聴しました。不慮の事故で脊髄損傷により半身不随になってしまう高校生が自分の状況が受け入れられず、親族や恋人を拒絶し死まで考えますが、車椅子バスケットを通して家族や友達に支えられながら成長していく物語でした。映画を視聴した方が、それぞれ自分や大切な人の人生について考えるきっかけになったのではないかと思います。

事例研究発表受賞者



最優秀賞 高草あすなる 竹中 麻衣子 優秀賞 高草あすなる 中原 裕美
 「介護現場におけるICT活用と業務効率化」 「デイサービスに求められているものとは」
 優秀賞 介護老人保健施設やすらぎ 大久保 さつき
 「EASEプログラム®を用いて、自己効力感に変化をもたらした一事例」
 常務理事賞 松の聖母あすなる園 田中 志歩
 「K・Yさん卒業に向けての実習体験嬉」

発表事例一覧

	部 門	タイトル	発 表 者
①	保育	「子どもたちが夢中になって遊べる環境作り」 ～コーナー遊びの充実を目指して～	白兔保育園 保育士 景山 寛子
②	障がい	「K・Yさん卒業に向けての実習体験嬉」	松の聖母あすなる園 保育士 田中 志歩
③	居宅	「地域住民とともに考える」 ～鳥取西地域包括支援センター4年目の取り組み～	鳥取西地域包括支援センター 保健師 中村 浩子
④	デイ	「デイサービスに求められているものとは」 ～アンケート結果から見えたもの～	高草あすなる 介護士 中原 裕美
⑤	介護士	「EASEプログラム®を用いて、 自己効力感に変化をもたらした一事例」	介護老人保健施設やすらぎ 介護士 大久保 さつき
⑥	介護士	「介護現場におけるICT活用と業務効率化」	高草あすなる 介護士 竹中 麻衣子
⑦	生活相談員	「目標は稼働率100%」～経営安定を目指して～	気高あすなる 主幹生活相談員 田中 理規
⑧	看護	「高齢者介護施設での看護職員の現状と課題」 ～仕事に対する満足と継続意志に関するアンケート調査より～	わかさ・あすなる 副主任准看護師 茗荷 和恵
⑨	栄養士	「課題に対してのアプローチ方法を考える」	介護老人保健施設やすらぎ 管理栄養士 木嶋 かおり

永年勤続表彰

勤続40年表彰者
松の聖母学園
生活支援員
ヘンドリクス ルド ゲラルド



40年前、私は愛徳修道士のメンバーとしてこの鳥取に来て、当時の愛徳修道士のメンバー4人と共に松の聖母学園に務めるようになりました。

愛徳修道士の霊性は、キリスト教に基づき、特にキリストが弱い人たちに見せた思いやりの点を手本にしています。どんな人にも神の目に大切な価値があり、神様に愛されています。その愛はどのように実現されているのかと尋ねられたら、例えば毎日のおもいやりいっばいのケアによって、面白くて楽しい活動を提供することによって、寂しくて構って欲しいと表す人、悩んでいる人に聞く耳を貸すことによって、また研修会などでご利用者とのより良い接し方を考えることによって、医療機関との協力とアドバイスによってなど、それら多くの方法によって神様が誰にでも「あなたを愛しているよ」と伝えていきます。そして、このすばらしいメッセージを誕生日や特別な日だけではなく、毎日毎日、神様が繰り返して伝えていきます。

振り返ってみると、私はこれを毎日出来たとは言えませんが、その努力はしてきたと思います。現在は短時間しか働いていませんが、身体が許せばあと2~3年はご利用者と一緒に過ごしたいと希望しています。

勤続35年表彰者
松の聖母学園
主幹 野坂 友恵



この度は永年勤続にて表彰していただき、ありがとうございます。

平成元年4月松の聖母学園に入職した当時、松の聖母学園は自分が想像していた施設の印象とは全く違い、ご家族の方と、別宅の学園職員と一緒に利用者の方々の成長を見守っておられる家族のような関係性に驚いたことを覚えています。事務職である私も、利用者皆様の笑顔・家族の皆様の優しさにふれ様々なことを教わり、成長させていただいたと思っております。そして35年間大過なく勤務できているのも理事長をはじめ、異動した先々でご指導・お力添えくださった施設長・先輩方、同僚の皆様、たくさんの方々のおかげと感謝しております。

今後は利用者の皆様が安心して生活していただけるよう精一杯努力し、これからも出会えた方との絆を大切に、努力していきたいと思っております。

今後ともご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。

勤続30年表彰者
岩井あすなる
主幹 岩村 奨



この度は、30年永年勤続に表彰していただき、ありがとうございます。

私があすなる会に勤めさせていただくスタートは、介護老人保健施設やすらぎでした。

福祉や介護施設に関する知識や経験は全く無い素人で、当初諸先輩職員からの支援や助言と、施設に入所されたご利用者からいただく「ありがとう」「すみません」「助かります」と感謝される言葉を励みに少しずつ仕事を理解し、人のために働ける喜びや、達成感を意識することが自分への原動力に成りました。

私自身が、この組織の一員で有ることを誇りと思い、責任感と帰属意識を大切に感じながら、温かい気持ちで接して下さる職員の方々と互いに切磋琢磨し、施設への愛着や信頼を得ることが出来たのも、あすなる会のいろいろな施設職員との出会いと、先輩、上司の方々、そして同僚や後輩に支えられて、人として大きく成長させていただいたことを心より感謝いたします。

これからも皆様に安心して満足していただける施設を目指し、邁進していきたいと思っておりますので、ご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。



40年勤続表彰



35年勤続表彰



30年勤続表彰



25年勤続表彰



20年勤続表彰



15年勤続表彰



10年勤続表彰

叙勲受章者



令和6年度春の叙勲(瑞宝単光章)受章者
久松保育園 施設長 富吉 由美子

法人貢献表彰



第78回国民スポーツ大会相撲成年男子 個人5位
鳥取西デイサービスセンター
介護士 アルタンゲレル ソソルフォー

エルダー・メンター制度実施施設認証

令和6年12月に、法人保育園の
鳥取あすなる保育園、久松保育園、白兔保育園が
鳥取県より若手保育士等の育成・定着に熱心に取り組む
「エルダー・メンター制度実施施設」として、認証されました。

鳥取県のエルダーメンター認証制度とは、保育士等の育成や定着に熱心に取り組む、エルダー・メンター制度を導入する県内保育施設を、県が定める基準に基づき認証することで、施設における若手保育士等を含む職員全体の人材育成と定着を図ることを目的として「エルダー・メンター制度実施施設認証制度」が創設されました。

今後も若手保育士の定着と人材確保にこの制度を活用していきたいと思えます。



認証書

法人保育園の 特徴的な取り組み内容

- 入職後3か月間を保育観察期間として保育現場に慣れるように配慮
- エルダー・メンターだけではなく、クラスの職員から保育・書類作成の指導が受けられる体制を整備



エルダー・メンター制度実施施設認証書授与式



法人のすべての保育園が認証されました

認定こども園への移行について

鳥取あすなる保育園と久松保育園は、
令和7年4月より“幼保連携型認定こども園”に移行し、
園名も新たに「鳥取あすなるこども園」、「あすなる久松こども園」に変更します。

幼保連携型認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ施設になります。

これまで保育園に通っている利用者に加え、保護者の就業の有無にかかわらず“1号認定者”（3歳～5歳）が利用できる園となり、入園・在園の幅がこれまで以上に広がり利用しやすい施設になります。

今後も、職員一丸となって、保育と教育の両面から子どもたちの育ちを支援していきたいと思えます。



令和6年度 職員互助会 旅行

法人創立55周年を記念して、5月から12月にかけて、函館・伊勢・東京・舞浜・滋賀・USJ・神戸・鳥取(食事会)の8コース29班に分かれて職員互助会旅行に行きました。総勢736名の職員と家族が参加し、普段関りが少ない施設の職員や他職種の職員とも交流できた素敵な旅行になりました。

滋賀松茸牛肉食べ放題・
アウトレット



函館



伊勢・スパワールド



東京・ディズニーリゾート
(1泊2日)



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン



食事会



令和6年度 職員互助会 活動

地引網体験



岩美町陸上地区の自治会と合同で地引網を実施しました。参加された陸上地区のみなさんと協力していつもより大きな地引網を引きました。例年実施している大羽尾海水浴場ではアジがよく捕れていましたが、陸上地区の浜ではキスがよく捕れました。網の中には約1mの大きな魚も!!!

参加者全員に魚がいきわたるほど大漁でした。



落花生収穫体験



10月12日(土)と20日(日)河内地区の農事組合法人河内こわらびの皆さんのご協力のもと、落花生の収穫体験を行いました。

はじめての企画でしたが、28名の方に参加いただきました。

落花生の株を土の中から掘り起こすと、たくさんの落花生の実がついていて、参加者は喜んで収穫をしました。収穫したてのゆで落花生はホクホク甘くて美味しかったです。

